

● 広報

おくび



2005

3

NO.605



シリーズ

11

と き
輝きの瞬間

笑顔とともに

「子どもたちがたくましく成長する姿に一番のやりがいを感じています。」と話す伊藤寿代さん（兵庫館）は、小国スイミングスクールで指導をはじめて8年目。今日も伊藤さんの笑顔に励まされる元気な子どもたちの声がこだまする。

みんなの 広場

2/9

迫真の演技で ストップ振込詐欺



町食生活改善推進員連絡協議会（加藤美恵子会長）は、二月九日、健康管理センターで開催した町の「ふれあい広場」で小国警察署の指導のもと、振込詐欺の防止を呼びかける会員創作の寸劇を披露しました。

ユーモラスな演技に会場からは笑いが絶えない中、参加された皆さんは、感心しながら、詐欺の手口などの迫真の演技を熱心に見入っていました。



2/18

優れた米づくりに 高い評価



県立小国高校（勝見英一朗校長）の一・二年生九十四人が、二月二日、独り暮らしのお年寄り宅などを訪れ、除雪のボランティア活動を行いました。

当日は五、六人のグループに分かれ十六軒を訪問し、軒下など家の周りに積もった雪の処理などの作業を行いました。参加された生徒の皆さんは、スコップを持つ手を休めずにさわやかな汗を流していました。

2/2

みんなの力で 除雪のお手伝い



米づくりの生産者団体である町原受検組合（渡部昭三組合長）が、二月十八日、平成十六年度「おきたま」おいしい米づくりコンクールにおいて、トップクオリティ賞を受賞されました。

やまがたこだわり安心米推進運動置賜地域実践本部が主催するこのコンクールに、管内より百一点が応募。同組合は、品質が優れているレベルの高い米を生産されたことが高く評価されました。

ーこの人に聞くー



おぐに冬まつり実行委員会
鈴木慶子さん

イベントをとおして、子どもたちに 雪で遊ぶ楽しさを伝えたい

今月は、2月19日に開催されたおぐに冬まつりで実行委員長を務められた鈴木慶子さん（宮の台）にお話をお聞きしました。

「今年で6回目を迎える今回の冬まつりは、保育園児から小学生までの子どもたちに、雪上ゲーム大会やマジックバルーンなどを体験してもらいました。最近、子どもたちが雪で遊ぶ姿を目にすることは少なくなりました。このため、小国の冬の楽しみを子どもたちに伝えたいと考えたものです。主催する立場にとりましては、子どもたちの喜ぶ顔が、何よりの励みとなりました。

今回は規模を小さくしての開催となりましたが、私は、継続して開催することが一番大切だと考えています。多くの方に楽しんでいただけるまつりにするためには、組織や環境の整備など課題もありますので、これらをひとつひとつ解決しながら、町の活性化につなげられるイベントに定着させていきたいと思います」。

2/20

風と一緒になる爽快感 クロスカントリースキー大会



小国スキークラブ（伊藤博雄会長）の主催するクロスカントリースキー大会が、二月二十日、総合スポーツ公園で開催されました。
当日は、町内外より小学生から一般まで約二十名が参加。

総合スポーツ公園を周回する一キロから五キロのまでの各コースで、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。
参加された皆さんは、力強いストックワークでコースを駆け抜けました。

2/20~23

あったかい温泉で ゆっくり疲れを癒す



新潟県中越地震で被災されたかたがたを、町内温泉施設で受け入れる事業が二月二十日から二十三日まで行われました。
この事業は、県と町、そして町温泉組合、白い森おぐに

（株）が主催したもので、国民宿舎飯豊梅花皮荘、泡の湯温泉三好荘、大滝温泉旅館滝の湯で実施しました。小千谷市や山古志村などから延べ二百人のかたがたが訪れ、疲れを癒されていきました。

四年目を迎えた

小中高一貫教育

新しい学習システムの構築に向けて



町では、平成13年度から文部科学省の指定を受け、小中高一貫教育の研究開発に取り組んでいます。そこで今回は、指定から4年目を迎えた今年度に取り組んだ内容について紹介します。

小中高一貫教育のあゆみ

本町の一貫教育は、平成十年十月、小国中学校と小国高校が、「中高一貫教育実践研究協力校」として山形県教育委員会より指定を受けたことから始まります。また、平成十二年度には、地域全体で子どもを育てる環境が整っていることなどから町内五中学校が加わり、さらに平成十三年度からは、小学校を含めた十五校が文部科学省より三年間の研究開発学校の指定を受け、小中高が連携した一貫教育について研究を進めてきました。加えて、本年度からは、三年間の継続指定を受け、これまでの取り組みを基に、新たな小中高一貫教育の取り組みを行ってきました。

連携した教育の中での

学力の定着

小中高一貫教育の研究では、国際理解教育と情報教育を核に、町内小中学校と県立小国



小学校から英会話を学習

高等学校とが十二年間の計画的、継続的な教育課程を編成することとしています。これにより、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、また、地域との結びつきを深める教育活動を実践し、心豊かで創造性に富む人材を育てることをめざしているのです。

また、現在求められる学力としては①算数・数学など教科の基礎学力、②国際理解教育や情報教育など社会環境を反映した学力、③地域のことを調べ解決しようとする力、④将来の生き方を考える進路選択能力など、知徳体のバラ

ンスのとれた『生きる力』が求められています。

このため、今年度は、次のような学力の充実を図る取り組みが行われました。

小中高の連携で算数・数学の基礎学力の向上

基礎学力の定着には、小学校からの積み上げが大切であり、特に算数や数学では一度つまずくと、その後ずっとわからなくなる傾向があると言われています。そこで、今年度小国町では、小中高の先生が算数・数学の基礎学力を全ての児童生徒に定着させるために、独自の基礎学力問題を作成し、三学期には、練習問題やテストを行います。これをうけ、結果を分析し、今後の授業や個別指導に反映させることとしています。

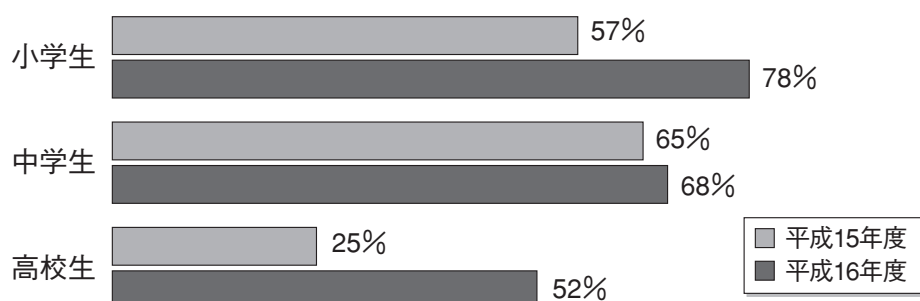
全国でも初の試み

特設教科「国際・情報」

小中高一貫教育の柱は、こうした基礎学力の向上とともに

に、国際理解教育と情報教育を小学校から計画的に実践していることです。特に、全国でも初めての実践として三年前から、「国際・情報」の特設教科を設定し、習得した英語とパソコンの活用を図り、外国との交流を行うとする取

英語を進んで話すようになった割合



り組みをしています。

小学校では、コンピュータによるアルファベットの習得、英文による簡単な文書作成、中学校では英文によるメールの交流、高校では海外とのメールの交流をめざしています。

外国人との相互交流を実施

教育委員会と小国高校にはそれぞれ外国語指導助手が配属され、全ての学校で英語にふれる機会をつくっています。また、町内の小中高生を対象に県内の英語指導助手八名との交流会を主体とした『イングリッシュ・アドベンチャー』を健康の森横根で開催しました。

さらに小国高校では、一年生が福島に一泊二日の英会話研修、二年生はロサンゼルス



外国人と交流を深めたイングリッシュアドベンチャー

への修学旅行を実施しました。今年度は、初めてアメリカへの修学旅行に小・中学校の教員を派遣しました。そこで小国高校の修学旅行へ同行した小玉川中学校の横山一美教頭先生にお話をお聞きしました。

学習意欲の向上に

つながるアメリカ修学旅行

「参加した生徒の『もっと英語を話せたら』という声を耳にし、高校生の段階で、英語圏の国へ行き、異なる文化に一定期間身を置くことは、英



横山 一美
小玉川中教頭

語への学習意欲の向上に役立つものと感じました。

また、地元の高校生との会話では、あらかじめ用意していた会話をすることができても、相手からのメッセージを聞き取る力が十分でないため、会話が途絶えてしまう場面がありました。このため、今後の授業においても、リスニン



現地の高校生との交流

グ活動をより多く取り入れることにより、英語を聞き取る力や単語の量を増やすための指導法を改善する必要があります。会話の中で遭遇する問題に対処できる技術を身につけられるよう、外国人と一対一で会話する環境を設定することも大切だと思いました。

地域を考え、生き方学ぶ

『白い森学習』の実践

子どもたちが地域について学ぶため、総合的な学習の時間で「白い森学習」を実施しています。今年度は、「白い森学習」の発表の場として、代表児童生徒による「白い森子ども議会」を町役場議場で行いました。町への提言など「白



まちづくりへ提言を行った白い森子ども議会

い森学習」をとおして地域を考え、自分の生き方を考える子どもたちを育てていくこととしています。

地域と一緒にあった

取り組みを展開

生き方指導として実施している職場体験は、町商工会や企業など地域の皆さんの全面的な支援を基に実施しています。今年度は、中学二年生、

高校二・三年生で実施しました。職場体験は、望ましい職業観の育成などの面においても重要視されているところです。生徒を対象としたアンケート結果によると、「職場体験は進路を考えるきっかけになった」と答えている割合は、中学生で八五%、高校生で七五%と高い割合を示しています。

職場体験を受け入れた長崎屋の岸優里さんにお話をお聞きました。

共通の認識が持てる

職場体験の実施を



岸 優里さん

「私の店では、昨年、中学生と高校生を受け入れました。品出しや陳列、値札付けなどこちらが手伝ってほしい内容を伝えると、生徒の皆さんは



地域の教育力を結集して実施される職場体験

きちんと仕事をこなしてくれました。また、最初のうちは戸惑いがあったようでしたが、お客様に対しても「いらっしゃいませ」とあいさつするなど、仕事をしているという自覚を持って取り組んでいるようでした。職場体験は、生徒の将来を考える一つの判断材料になると思います。地域の教育力を結集し、その支援によって職場体験を進めようとする一貫教育の趣旨はとてもいいことだと思います。私

たちにとっても、教育の一環として受け入れているのですから、職場体験のねらいや意味を事前に打ち合わせをする機会を設けていただき、子どもたちと共通の認識を持つて職場体験に臨める環境の整備を期待します」。

小中高一貫教育の今後の方
向性について、町小中高一貫
教育推進協議会の会長である
目黒孝雄小国町教育長は次の
ように語っています。



目黒孝雄教育長

**継続・系統的な学習システム
の確立を目指して**

「小中高一貫教育のねらいは、小学校から高校まで継続的かつ系統的に学ぶことによって、基礎学力はもとより、生きる力や情報活用能力など

を子どもたちに定着させることです。このことは、地域へ貢献する人材の育成につながるものと思います。実際に、道路一斉清掃やサマースポーツ大会など地域行事への参加をとおりして、それぞれの地域で以前より子ども
の姿が見えるようになりました。

本町における小中高一貫教育の実践は、地域社会における新しい教育の在り方の礎を築くとともに、将来の町を担う子どもを育むための新たな学習システムの確立へ向けた大きな役割を担うものと考えます。今後も、国際・情報を柱に地域とともに学ぶ環境の整備に努めていきたいです」。

十二年間の取り組みで 質の高い教育をめざして

本町では、小学校から高校までの十二年間で、子どもた



サマースポーツ大会より

ちをどう育てるかという視点に立って、町内の各学校が連携して取り組んでいます。今後、各小中学校では、保護者や地域の方へ取り組み内容を説明し、一貫教育に対する理解をさらに深めていただくよう努めるとともに、小国高校では、子どもが入学したくなるような魅力ある高校づくりを進めることとしております。本町の進める一貫教育においては、学校や地域社会、そして行政が一体となって教育環境の整備に努めながら、引き続き、新しい時代にふさわしい教育の在り方の構築をめざしていきます。

自立する

まちづくりをめざして

後期過疎地域自立促進計画のあらまし②

シリーズで紹介している小国町後期過疎地域自立促進計画について、今月は五つの基本課題のうち「自主、自立を可能とする地域づくり」、「地域資源を活用した産業づくり」における施策を紹介します。

自主、自立を可能とする地域づくり

現在、「官から民へ」、「国から地方へ」の考え方の下、地方分権型の新しい行財政システムの構築が求められています。また、国の三位一体改革を中心とする各種制度の見直しにより、一層効果的かつ効率的な行財政運営が必要となっています。

協働の力による

地域経営の実践

分権型社会においては町民

参加による地域経営を進めることが求められます。そのため、町民、コミュニティ組織、NPO（民間非営利団体）、第三セクター等の活動と協働し、相互に連携した施策の集約を図りながら、地域経営の実践をめざしていきます。

新しい生活圏の形成

急激な少子高齢社会の進行は、地域の活力を衰退させ、相互扶助などの村社会の機能低下をもたらす恐れがあります。このため、地域にあるさまざまな資源の見直しや評価

を行う「地区力点検作業」など集落構造を調査し、必要な整備を進めていきます。また、生活環境や地域特性、学区などを考慮しながらいくつかの集落からなる新しい生活圏の形成に取り組んでいきます。

男女共同参画社会の形成

平均寿命の伸び、高学歴化や社会的自立の高まりなどによって、女性のライフスタイルが変化し、社会参加が進んでいます。今後、社会における女性の役割はますます重要になってきます。そのため、男女がお互いに尊重し合い、支え合う男女共同参画社会の形成を進めてい



地域資源をコミュニティビジネスに

きます。

地域資源を活用した

産業づくり

消費者ニーズが多様化し個性化が進むなか、本町が持つ自然環境や地域資源、生活文化等の様々な価値が再認識・再発見されるチャンスを迎えています。このため、地域の中に新たな経済活動を創り出すという視点に立って、地域

シリーズ2：後期過疎地域自立促進計画



スローフードの代表格“雑穀”

資源等を活かしながら、コミュニティビジネスなど内発型の産業を育成していきます。

山村総合産業の創出

近年、スローライフ、スローフード、地産地消など「食」の安全性や文化的側面に対する人々の関心が高まってきています。また、都市生活者の体験観光農業等に対する需要も高まってきています。

こうしたことから、本町が持つ豊富な地域資源を活かした複合的な農業経営や資源循環や環境保全に配慮した農業

への取り組みなど新しい経営スタイルを創出していきます。一方、これに応えていくための体制の整備や人材を育成します。

森林資源を活用した

産業の創出

本町の広大な森林を有効活用し、農山村の活性化を図るため、公共建物、公共土木工事、住宅建設における本町産材の利用促進を図るとともに、間伐材や林地残材など、木質素材の利用を推進していきます。また、木質バイオマスエネルギーの導入を視野に入れた新たな地場産業を創出していきます。

さらに、森林を活用したグリーンツーリズムやエコツーリズムの推進を図りながら、森林の多面的な利用と都市と農山村の共生・対流を実現します。

起業の促進

近年、きのこ、山菜、そば、



固有の文化を多くの方へ

漬物、雑穀など本町独特の地域資源を活用した事業が育ってきています。こうした動きが定着し、安定した産業に結びつくためには、安定供給や生産効率の向上、販路拡大などの課題解決が必要です。

そのため、生産者と商業、流通業、サービス業などが多様に連携し、それぞれの情報や技術を共有・活用できる環境の整備、組織化を図っていきます。その上で、町内販売やインターネットを活用した販売など市場開拓を進めていきます。また、そうした起業ノウハウを集落や地域団体等

が行うコミュニティビジネスの創出へとつなげていきます。

「産・学・官」の連携

住民の生活水準向上を実現するためには、農林水産業、商業、製造業、サービス業といった既存産業の拡大発展と雇用の安定を図る施策が必要です。このため、工業用水道を確保し生産活動の支援基盤を整えていくとともに、安定強化を図るための労働力の確保や、環流人口、UJITターンなどの受け入れのための定住環境の整備、金融面での支援を進めていきます。

また、町内事業所の技術連携や異業種等との連携を深め、地域内資源を活用した新たな産業創出やさまざまなソフト事業を展開していきます。

来月号では「交流と連携を実現する基盤整備」、「少子高齢社会に対応した行政サービスの確立」について紹介します。

新町50周年記念 地域資源を活かした 魅力ある町づくりフォーラム開催

新町五十周年を記念した「魅力ある町づくりフォーラム」が、二月十一、十二日の二日間にわたっておぐに開発総合センターで開催されました。フォーラムでは基調講演のほか、パネルディスカッションなどが行われ、環境と食農、そして新産業の創造にむけて活発な意見が交わされました。そこで今月はフォーラムの様子を紹介します。

新しい風が吹く～むら・まち～ 浜 美枝氏 基調講演



このたびのフォーラムでは、俳優の浜美枝さんを講師に迎え、基調講演が開催されました。浜さんは、俳優の傍ら“環境・農・食”問題について研究し、ライフコーディネーターとして幅広く活躍されています。今回は、「魅力ある地域づくりと農村の役割」をテーマに「新しい風が吹く～むら・まち～」と題して講演が行なわれました。

講演で浜さんは、自ら訪れた日本各地の1200にも及ぶ農村・漁村の経験を基に、具体的事例を挙げながら「地域づくりは、行政に頼らず、生活の担い手となっている女性の力を積極的に社会へ反映させよう。そして、自分のため、人のため、地域のために力を惜しまず自ら行動しよう」と集まった約150名の聴衆に訴えかけました。

●●● 事例発表 ●●●



食物アレルギーの研究から、アレルゲン除去ケーキの完成をとおした普及活動を発表。

「食物アレルギーの理解を求めて」
置賜農業高校飯豊分校プロジェクトチーム
(飯豊町)



民宿経営の実践などから、地域資源を活かした都市と農村との交流について発表。

「自然環境を活かした地域間交流」
斎藤初男氏 民宿ふもと経営(五味沢)



母ちゃん市場の経験から、安全安心な農作物づくりや地元野菜の直売活動を発表。

「地元農産物の地産地消の取り組みについて」
渡部洋子さん 母ちゃん市場(上岩井沢)



パネラー
高畠町ゆうきの里さん
チーフマネージャー
遠藤 周次 氏



パネラー
自然写真家
鈴木 一雄 氏



コーディネーター
(株)東北地域環境研究室
代表
志賀 秀一 氏

パネルディスカッション

地域資源を活かした 魅力ある町づくり

志賀 地域づくりは、総力戦の時代を迎えています。元気な地域には必ず自主性を持った元気な人がいます。郷土の特徴を活かした町づくりには、行政任せではない、官民一体となった取り組みが大切です。

鈴木 自然豊かな小国は絶好の撮影ポイントであると太鼓判を押します。インターネットなどをとおして、地域の人が、地元の良さを知り、それを外に向けて発信し続けることが大切であると考えます。

遠藤(周) よその人を迎え入れるには、特別なことは必要なく、普段どおりの生活を提供することです。それには、自分の住んでいる地域に対する自信と誇りを持つことが大切です。

遠藤(恵) 自然にやさしい農業の実現に向けて家族と一緒に取り組んでいます。楽しみながら、さまざまなことに挑戦する姿勢を持つことが大切だと実感しています。

舟山 自分の地域での活動をとおして、コミュニケーションがとれ、連帯感が育まれて

いくと感じています。自然の中で感じる豊かな気持ちを大切に、今後の活動につなげていきたいです。

釧持 地域リーダーなど人材面での人起こしは、町づくりのキーワードだと思います。高齢者や女性が活躍できる社会の実現に向けて行政と民間が協力しなくてはけません。



パネラー
(有)流通研究所
統括部長
釧持 雅幸 氏



パネラー
森林インストラクター
舟山 功 氏



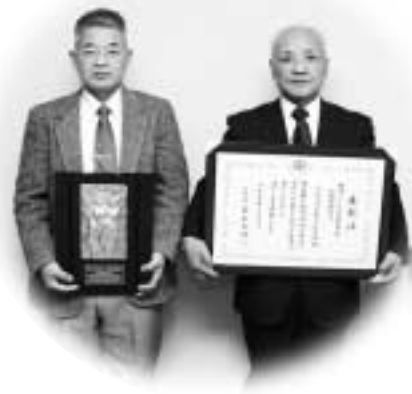
パネラー
農業実践者
遠藤 恵美子 氏

**白い森おぐに
フォトコンテスト入賞者**

フォーラムの席上、白い森おぐにフォトコンテストにおいて入賞されたかたがたを次のとおり表彰しました。

一般の部

最優秀賞	酒井 なみ(福島県)
優秀賞	渡辺 貞男(新潟県)
優秀賞	石井 廉二(山形市)
特別賞	江部 勇(新潟県)
特別賞	小熊 勲(新潟県)
特別賞	結城 勉(山形市)
佳作	南日 伸夫(新潟県)
佳作	高橋 祐輔(新潟県)
佳作	星 義道(新潟県)
佳作	小林 明光(茨城県)
町民の部	
最優秀賞	斎藤 弥輔(伊佐領)
優秀賞	佐藤 俊一(幸町)
特別賞	舟山十三子(北)
特別賞	木内 茂雄(伊佐領)
佳作	佐野 初男(緑町)
佳作	遠藤 愛(岩井沢)
佳作	佐藤 一(新原)
佳作	渡辺 英雄(小国小坂町)
佳作	渡辺クニ子(小国小坂町)
佳作	加藤 直斗(岩井沢)



黒沢峠敷石道保存会（保科充会長）が、一月二十六日、地域づくり総務大臣表彰を受賞されました。このたびは、全国で三十二団体が受賞されましたが、敷石道という地域の遺産を活かし、地域間交流を図りながら次代への継承活動を行っていることが高く評価されたものです。

同保存会は、昭和五十五年に発足し、埋もれていた敷石を発掘するとともに、峠道の除草や案内看板設置などの維持管理を行ってきたほか、冊子の発行やインターネットのホームページなどを通じて広く魅力を伝えていきます。また、

黒沢峠敷石道保存会

地域づくり総務大臣表彰受賞



町長より伝達を受ける益田さん

益田熊彦さん（長沢）に 旭日単光章

町議会議員を四期務められた益田熊彦さん（長沢）が、旭日単光章を受章されました。益田さんは、議会議員として、住民の福祉向上に大きく貢献されるとともに、農業委員として町の農業振興にも寄与されました。

地方自治への運営発展に尽力され、その功績が高く評価されたもので、二月十六日に、町長から伝達されました。

町長室から

小国町長 小野精一

冬の間に食べることの多いゼンマイやワラビなどの保存食品には、その素材の特性を見極めた加工・保存法が生み出され、そして、それぞれの家庭に独特の料理法が受け継がれてきました。これは、豊穡のブナの森に育まれ、豊かな水資源を招く雪国小国の特性に、人々の知恵と技術が注がれ続けてきたかけがえのない地域資源であり、文化であります。

二月十一日、十二日の両日に開催した「魅力ある町づくりフォーラム」において、新しい産業づくりや地域づくりに対して、さまざまな提言をいただきましたが、その中で、こうした地域資源が秘めている多様な力と可能性を、改めて実感いたしました。

毎年十月には黒沢峠まつりを開催し、多くの観光客のかたがたが敷石道の魅力にふれています。

次代につながる架け橋へ

黒沢峠敷石道保存会

会長 保科 充

今回の受賞は、黒沢地区全体にとりましても、大変に名誉なことと思っております。昭和五十五年に会を結成して以来、夏の間の除草など定期的に敷石道の整備を行って



保科 充 会長

ますが、これは、地区の協力があつてこそのもので。近年、峠の魅力がテレビなどとおして広められ、多くの方が訪れてくれるようになりました。

これからもさまざまな保全活動をおして、敷石道が次代につながる架け橋となることを願っています。



往時の面影を残す黒沢峠敷石道

癒しの園 シリーズ 12 健康考話

町立病院主任看護師
木村陽子



自立生活 いつまでも

冬場の運動不足解消と、転んでも身をおわせる筋力づくりと題して、三カ月間「転倒予防教室」を開催しました。

参加者からは「膝の痛みがいつのまにかなくなった」、「手術後、身体が弱っていたが楽に動けるようになった」、「一人だと続かないことも仲間と一緒に楽しく続けられた」、「私でもできるか心配だったが無理なく続けられた」などの感想と体力測定の結果からは、体力向上という運動の効果が確認されました。身体を動かすことが健康に良いことや、高齢者の寝たきりや死亡を減少させる効果があることは誰もがわかってい

ることですが、いざ運動を続けるとなると習慣化できずにあきらめてしまう方も多いのではないのでしょうか。私たちはいくつになっても身の回りのことは自力でこなして暮らしたいと願っています。この願いこそが運動を続ける最大の目標となります。体を支える筋力は毎日少しずつ運動を続けることで維持されます。また、面倒くさくなったり中断したりしてもいつでもやり直せるというのは運動の利点です。

今回の教室の経験を踏まえて、健康づくり運動継続の条件は、次の三点です。

- ・ 少しずつ日課に運動の時間を組み込んで記録に残す。
- ・ 生活活動すべてを運動として意識する。
- ・ 無理せず疲れたら運動の種目を変えてみる。

いつまでも自立生活を続けるためにも、自分にあった運動を生活の中に取り入れて豊かな人生にしたいものです。

募集

町営住宅等の入居者募集

■町営住宅

▼幸町団地45-1-1

2K 1戸

▽対象 同居する親族があり、住宅に困っているかたで、前年度所得額が月額二十万円以下のかた

■勤労者住宅

▼小坂町1号棟B101、B303 2K 2戸

(家賃三万三千円)

▽対象 小国町で働いているかた

■募集期間 3月2日(水)～9日(水)

■入居時期 4月上旬

■敷金 家賃の3カ月分

■申込・問合先 地域整備課

小国スイミングスクール入会者募集

■募集期日 3月1日(火)～

■教室開始 4月5日(火)～

■対象者 小学1年～6年生

■募集人員 先着20名

■受講費 月二千円(その他バツジ代、後援会費が必要)

す)

■申込・問合先 温泉健康館

ゆいゆ・温水プール(☎62-5600)へ

防衛庁予備自衛官補募集

■種目

▼一般公募

18歳以上34歳未満の男女

▼技能公募(衛生、語学、整備、情報処理、通信、建設)

18歳以上で、各資格により53歳、54歳、55歳未満の男女

■申込期限 4月8日(金)

■採用試験 4月中旬

■問合先 自衛隊米沢募集事

奨学金貸与生募集

務所(☎0238-23-0011)へ

■応募資格

▼平成17年4月に大学および大学院へ入学するかた、または在学しているかた

▼健康で学業が優秀であり、将来性があるかた

▼経済的理由により、就学が困難であるかた

■貸与金額 月額四万円

■貸与期間

▼大学生 在学する4年間(医学部は6年間)

▼大学院生 在学する期間

■貸与予定者数 5名程度

■提出書類

申請書、作文、高等学校全学年の学業成績証明書(大学院はほかに卒業(予定)大学の成績証明書)および出身学校長の推薦書、写真、家計支持者の年収証明書(給与所得の源泉徴収票など)

■その他 大学院進学貸与生に対する貸与の継続もできます。

■応募締切 3月22日(火)

■応募先 〒182-0000

4 東京都調布市入間町1番36号 社団法人米沢有為会(☎03-33309-3)

ボイラー実技指定講習会

■日時 4月21日(木)から24日(日)までの4日間のうち、受講希望者が指定する3日間 午前9時～午後5時(初回の21日は、午前9時30分～)

■場所 山形ビッグウイング(山形市)

■募集定員 80名

■受講料 一万六千二百円(テキスト代を含む)

■申込・問合先 置賜労働基準協会(☎0238-21-5678)へ

催し

スプリングスポーツ教室

■日時 3月23日(水)、24日(木)、25日(金)

午前10時～12時

■場所 町民体育館

相談

年金相談

- 日程 3月9日(木)
- 受付 10:30~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 内容 年金に関すること
- 問合先 町民課へ

休日年金相談

- 日時 3月12日(土)、13日(日)
9:30~16:00
- 場所 米沢社会保険事務所
- その他 年金手帳を持参してください。
(または免許証等、自分の身分を証明できるもの)
- 問合先 米沢社会保険事務所 (☎0238-22-4318) へ

総合センターから

新刊図書

- ◆野ブタをプロデュース 白岩 玄
- ◆電車男 中野 独人
- ◆夏の名残りの薔薇 恩田 陸
- ◆マイマイ新子 高樹のぶ子
- ◆Xゲーム 山田 悠介
- ◆二十四時間 乃南 アサ
- ◆チョコレート・アンダーグラウンド
アレックス・シアラー
- ◆こどものきもの 林 ことみ
- ◆負けてたまるか 中村 修二
- ◆かいけつゾロリ 原 ゆたか

※ほか多数入荷しました。

3月休館日
3月2日(水)・20日(祝日・日)

総合センター2階事務室

展示期間と場所

- ①3月1日(火)~10日(木)
役場2階正面玄関ロビー
- ②3月12日(土)~25日(金)
(20日(日)は閉館日となります)

白い森おぐに フォトコンテスト 入選作品展示

倶楽部事務局 安達広喜さん(☎62-5588)へ

講師 斉藤恒助氏

申込・問合先 ぶなの森エコ

参加費 二千元(発酵後の
ぼかし肥料を60キロ程度差
し上げます)

場 所 JA山形おきたま
小国営農センター

日時 3月12日(土)
午前9時~

米糠や油粕などを土着菌で
発酵させた有機肥料で野菜を
作ります。

ぼかし肥料で野菜を作る会

参加費 無料
問合先 小国小ことばの教
室(☎62-5401)へ

教授 長谷川茂氏

- 対象者 町内の小学1、2年生
- 内容 トランポリン、ユニホッケー、フリスビーなど
- 持ち物 内履き、タオル
- 申込方法 保険料(1日あたり18円)を添えて、町民体育館へ申し込んでください。
- 申込締切 3月20日(日)
- 申込・問合先 町民体育館へ

ちびっ子スイミング 一日体験水泳教室

- 日時 3月12日(土)、19日(土)
午後1時30分~3時
- 場 所 温泉健康館ゆ・ゆ・温水プール
- 対象者 保育園年長児童
- 募集人員 各日ともに二十名(1人1回のみの受講)
- 受講費 千円(保険料含む)
ほかに入場料(三百円)が必要
- その他 父兄のかたにプールサイドを開放します。自由に見学してください。
- 申込・問合先 温泉健康館ゆ・ゆ・温水プール(☎62-5600)へ

水中健康体操教室

- 日時 3月8日(火)~29日(火)までの毎週火曜日と金曜日(計6回)午後1時30分~2時30分
- 場 所 温泉健康館ゆ・ゆ・温水プール
- 受講費 二千元
ほかに保険料と入場料五百円が必要
- 対象者 18歳以上の一般のかた
- 募集人員 20名(10名以下の場合中止となります)
- 内容 水中での体操や軽いスイミングなど
- 申込期限 3月6日(日)
- 申込・問合先 温泉健康館ゆ・ゆ・温水プール(☎62-5600)へ

落語教室発表会

- 日時 3月20日(日)
午後1時30分~
- 場 所 アスモ3階多目的ホール
- 内容 講師に山遊亭金太郎師匠を迎え、小学校4~6年生を対象に開催される
- 入場料 無料
- 問合先 小国町商工会(☎62-4146)へ

ご案内

小国小ことばの教室 親の会講演会

- 日時 3月12日(土)
午後2時~4時
- 場 所 総合センター
- 内容 講演会
演題「豊かな心を育てるコミュニケーション」を
目指して
- 講師 宮城教育大学名誉

前通路
問合先 産業振興課へ

くじえいと工房再生品提供

■時間 午前9時～午後4時(日、祝祭日を除く)

■場所 千代田クリンセンター(高島町)

■提供品 自転車20台、家具類15点

■展示および申込期間

4月1日(金)～5月14日(土)

■応募方法 会場に準備してある申込用紙で応募してください。

■公開抽選日 5月17日(火)

午前10時

■引渡締切 5月28日(土)

■問合先 千代田クリンセンター(☎0238-57140004)へ

民間国際交流団体活動推進支援助成事業

(財)山形県国際交流協会では、県内の民間団体が行う国際交流や協力事業に対し、助成を行っています。助成を希望する団体は、申請してください。

■助成金 上限30万円

■対象 4月1日から9月30日の間に行う事業、または年間を通じて実施される

事業

※ただし、渡航費のみの申請や、個人が負担すべき食糧費、また対象が会員など波及効果が低い事業と判断する経費は対象外です。

■申請期限 3月10日(木)

■申請・問合先 (財)山形県国際交流協会(☎0231-64712560)へ

子育て支援センターから

▽『あそびの広場』

■日程 3月15日(火)子育て講座(クッキー作り)、22日(火)、4月12日(火)

■時間 10時～11時30分

■場所 健康管理センター

▽『なかよし広場』

■日程と場所

▼3月17日(木)、24日(木)、4月7日(木)

総合センター交流室

▼4月14日(木)

おぐに保育園

■時間 10時～11時30分

▽『いども愛ランド』

■日程 3月12日(土)

■時間 9時30分～12時30分

■場所 健康管理センター

■内容 親子で餃子作りに挑戦

※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-2330)へ

求人情報

左の表は、2月15日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
山和建設(株)	4人	土木施工管理技士、土木作業員	18～55	8:00～17:00
安部工業(株)	1人	土木作業員	不問	8:00～17:00
大河内産業(有)	1人	事務員	18～50	8:00～17:00
遠藤建設(株)	2人	土木技術員	25～55	8:00～17:00
(株)横川建設	4人	土木施工管理技士、重機オペレーター	18～50	8:00～17:00
猪野電気工事(株)	3人	電気工事	不問	8:00～17:00
ハイコー(株)	2人	電気工事	18～45	8:00～17:00
小林建築	4人	大工	18～60	8:00～18:00
(株)ジェイサービスおきたま	1人	給油業務員	20～40	8:00～16:45ほか
東芝セラミックス(株)小国サイト	1人	設備管理	～35	8:30～17:10
(株)アプロ仙台営業所	3人	機械設計	21～45	9:00～17:45
(株)トーコー新潟支店	10人	電子部品製造	18～50	8:30～16:40ほか
(株)トーコー庄内営業所	5人	電子部品製造	18～50	8:30～16:40ほか
朝日生命保険相互会社社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	保険営業	25～55	9:00～17:00
アクサ生命保険株式会社社長井分室	5人	保険営業	不問	9:15～17:00
(有)コンズカンパニー第一ホール小国店	1人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(株)鶴岡屋小国営業所	1人	建築資材の販売、配達	～40	8:00～17:30
(株)小国製麺	2人	麺製造	18～45	8:00～17:00
(株)肉の白萩屋	2人	精肉加工員、店員	20～45	11:00～20:00ほか
(有)蔵王ストア	2人	店員	不問	8:45～18:00
医療法人愛広会介護老人福祉施設関川愛広苑	1人	理学療法士	不問	8:45～17:30

育児や介護を行いながら働くかたや働きたいかたへ



育児や介護、家事などに関する各種サービスについて、相談に応じます。また地域の具体的な情報を電話やインターネットにより無料で提供します。

■利用日時 月曜日～金曜日(祝日を除く)
9:30～16:30

■内容

- 育児情報 認可(外)保育施設、幼稚園、家庭的保育、ベビーシッター、放課後児童クラブ、また保育サポーターなど
- 介護情報 高齢者向け福祉サービス、民間ホームヘルパー、看護師家政婦(夫)紹介所、介護用品など
- 家事代行情報 家政婦(夫)紹介所、家事代行サービスなど

■問合先 (財)21世紀職業財団山形事務所(☎023-642-2020)へ

保健カレンダー

月 日	乳 幼 児 健 診	受 付 時 間	対 象	場 所
4/15	3歳児健康診査	12:30～13:00	13年8～10月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、問診票 (1歳児健康診査は除く)
4/22	1歳児健康診査	13:00～13:15	16年4月生まれ	

※4月から「3カ月児健診」は、「4カ月児健診」に変わります。

■問合先 健康福祉課へ

長期固定金利の住宅ローン ー「フラット35」ー

「フラット35」は、住宅金融公庫がバックアップする民間金融機関の長期固定金利の住宅ローンです。

- 最長35年間の長期固定金利
- 融資限度額最高5,000万円
- 保証料、繰上返済手数料はかかりません。
- 住宅の質を確保します。
- 中古住宅の取得も対象となります。

■問合先 住宅金融公庫東北支店
フラット35・ほっとライン (☎022-227-5554) へ

国民年金保険料は 口座振替での前納がお得です。

口座振替により、国民年金保険料をまとめて納めした場合（前納した場合）、保険料が割引になります。

たとえば

1年分をまとめて
納めると

年間3,420円の
割引になります

17年度分の保険料を一括して前納すると、現金払いでは2,890円の割引、口座振替では、3,420円（530円増）の割引となります。（6カ月前納も口座振替が有利です）

口座振替で4月分から前納するためには、3月18日頃までに申し込みが必要です。早めに申し込むようにしてください。口座振替日は4月30日（今年は4月末日が休日のため5月2日）です。なお、すでに口座振替で前納されているかたは、届出の必要はありません。

■問合先 町民課へ

平成17年度 肺がん検診を受け付けます

■対象者 40歳以上のかた

■時間と会場

各地区の総合検診と同じ日に受診できます。

■検査内容および料金

内 容	料 金
胸部X線間接撮影	400円
喀痰検査（血痰のあるかた、50歳以上でタバコを吸うかた（1日に吸う本数×年数＝600以上のかた）	900円

■申込期限 3月18日(金)

■申込方法 直接電話で申し込んでください。

■申込・問合先 健康福祉課へ

5月2日(月)開業 山形県総合交通安全センター

～運転免許センターが変わります～

■窓口業務の変更内容

- 平日の更新受付時間を午前と午後に拡大します。
- 日曜日の更新窓口の免許証を即日交付します。後日警察署に出向いたり、郵送で受け取る必要がなくなります。
- 山形、上山、天童、寒河江、村山警察署管内のかたの運転免許更新等は、総合交通安全センターで受付し、即日交付します。ほかの警察署管内のかたは、地元の警察署、または総合交通安全センターで手続きできます。

■問合先 県警察本部運転免許課 (☎023-655-2150) へ

白く森のほほえみ

46

今月は、介護用品ウエルラ
ンド小国店（緑町）店長加藤
鋭一さんにお話をお聞きしま
した。



ウエルランド小国店さんの様子

「介護用品を専門に扱う当
店は、平成十六年二月に店を
構えました。当店は、車いす
やベッドなどのレンタル、手
すりや床の段差解消などのリ
フォーム、そしてポータブル
トイレなどの福祉用具の販売
おむつやトイレ用品などの介
護用品を取り扱っています。
常時、店頭には、車椅子や
介護用ベッド、電動四輪車を
展示し、実際に手にとって商
品をご覧にいただけます。そ
の他の商品につきましても、
カタログから取り寄せること
ができますのでお気軽にお申

し付けください。また、アフ
ターサービスにつきましても、
軽微なものでしたら直接ご自
宅へうかがって修理をさせて
いただいております。電話で
注文いただければ、紙おむつ
などは、町内でしたら、ご自
宅への配達も行っていますの
でお気軽にご利用ください。
これからも、お客様との信
頼関係を築いていきながら、
そのかたの状態にあった福祉
用具を提供させていただきた
いと考えております。皆様の
ご来店を心よりお待ちしております
ります」。(電話 62-2132)

編集後記

黒沢峠敷石道保存会
の総務大臣表彰は、本
紙の中でも紹介してい
ますが、取材を進める
につれ、さまざまな考
えが、頭に浮かんでき
ました。それは、峠道に込め
られた先人の苦労や努力、そ
して思い。幕末にかけて峠道
に石を敷き、越後との交流を
図ろうとした先見性。苦労
しながら峠道を切り開いた先
人の偉業には、頭の下がる思
いです。
今は、雪深く眠る敷石道で
すが、春には、また違った気
持ちで歩けるような気がして
います。(井上)

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

栄町	菊竹	いぶき 桧	(美 忠)
小国小坂町	貝沼	かずや 和哉	(俊 明)
大石沢	高橋	ゆうた 悠太	(宣 哉)
沼沢	遠藤	てつや 鉄也	(慎 一)
小国町	森	あいな 愛和	(隆 員)

結婚おめでとございます。

米沢市	吉田元
小国小坂町	叶内佐知子

おくやみ申し上げます。

栄田	町頭	長安	岡部	のき	ぶい	(87)
岩井	沢井	菅野	野澤	は富	や雄	(80)
緑町	町原	野宮	崎崎	美雄	(100)	
小国小坂町	小国	馬場	藤崎	克巴	(83)	
小東	町原	齋舟	山口	信雄	(87)	
中増	島岡	山山	正松	尋子	(88)	
小国小坂町	岡股	伊安	藤部	子一	(67)	
岩井	沢	齋渡	藤部	た江	(67)	
				志の	(88)	
				富士	(83)	
				子重	(47)	
				行	(42)	

人口のうき

人口	男…4,895人(+5)
	女…5,137人(-7)
	計…10,032人(-2)
世帯数	3,312世帯(+9)
	平成17年1月31日